

正

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)



茨城県知事

殿

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 25 日

提出者

住 所 茨城県稲敷郡阿見町星の里 22 番地
氏 名 雪印メグミルク株式会社
阿見工場長 橋本 定典
電話番号 029-829-5231

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	雪印メグミルク株式会社阿見工場
事業場の所在地	茨城県稲敷郡阿見町星の里 22 番地
事業の種類	大分類：製造業、中分類：食料品製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

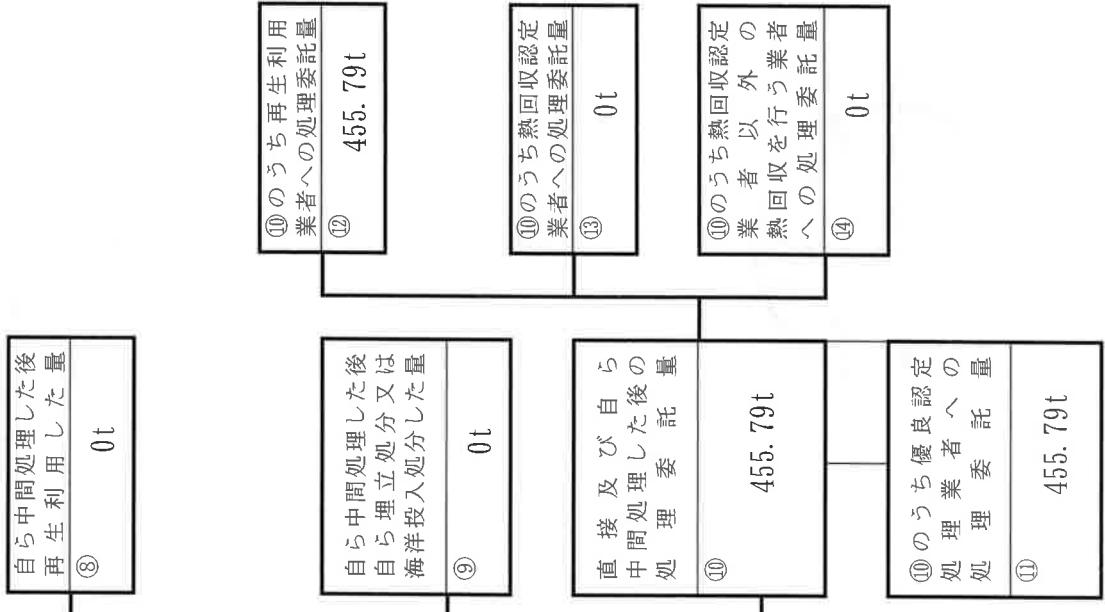
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1428.58t	全処理委託量	1428.58t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	1428.58t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	1428.58t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	143.57t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A 列 4 番)

(産業廃棄物の種類：動植物性残渣)

計画の実施状況

項目	実績値	排出量	量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後の中間残さ量	自ら中間処理した後の中間残さ量	自ら中間処理した後の中間残さ量	自ら再生利用した量	自ら再生利用した量	自ら再生利用した量	自ら再生利用した量
① 排出量	455.79t	① 455.79t	② 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③ 0t	④ 自ら中間処理した後の中間残さ量	⑥ 0t	⑦ 0t	⑧ 自ら再生利用を行った量	⑨ 0t	⑩ 455.79t	⑪ のうち再生利用業者への処理委託量
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t		④+⑨自ら熱回収を行った量	⑤ 0t	④のうち熱回収を行った量	⑥ 0t	⑦ 0t	⑫ 再生利用業者への処理委託量	⑬ 热回収認定業者への処理委託量	⑭ 热回収を行う業者への処理委託量	⑮ のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑤自ら熱回収を行った量	0t		③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑩ 0t	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑪ 0t	⑫ 0t	⑬ 0t	⑭ 0t	⑮ 0t	⑯ のうち再生利用業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量	0t		⑪全処理委託量	455.79t	⑪全処理委託量	455.79t	⑫ 0t	⑬ 0t	⑭ 0t	⑮ 0t	⑯ 455.79t



)



)

(第2面)

(産業廃棄物の種類：汚泥

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

自ら再生利用した量
② 0t

排出量
① 659.08t

項目	実績値
① 排出量	659.08t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	659.08t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	659.08t
⑫再生利用業者への処理委託量	659.08t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20.23t

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0t

自ら中間処理した量
⑥ 0t

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 0t

自らのうち熱回収認定業者への処理委託量
⑪ 0t

業者以外の熱回収を行う業者の処理委託量
⑫ 20.23t

自らのうち優良認定の処理業者への処理委託量
⑬ 659.08t

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)

)

計画の実施状況

有償物量
不要物等発生量

不 妨 物 等 発 生 量

排 出 量
① 158.77t

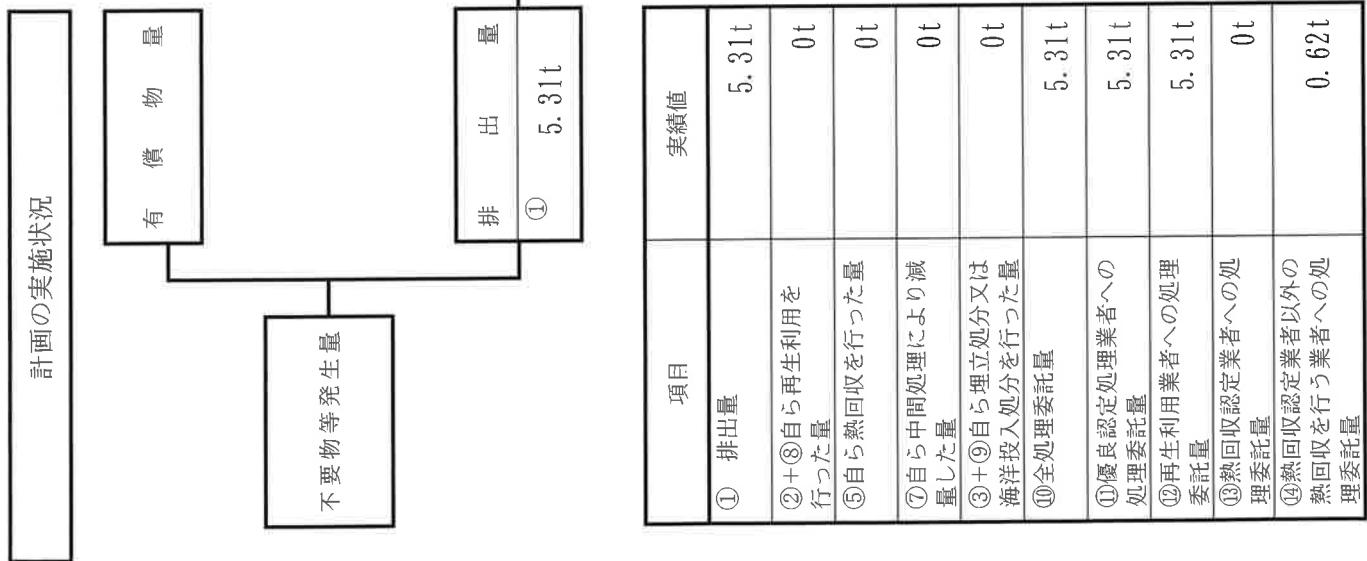
項目	実績値
① 排出量	158.77t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
⑩全処理委託量	158.77t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	158.77t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	112.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	158.77t

自ら再生利用した量	直接量
② 0t	② 0t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0t	③ 0t
自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 の残さ量
④ 0t	④ 0t
自ら中間処理による 減量	自ら中間処理による 減量
⑥ 0t	⑥ 0t
自ら中間処理した後 の量	自ら中間処理した後 の量
⑦ 0t	⑦ 0t
自ら中間処理した後 の量	自ら中間処理した後 の量
⑨ 0t	⑨ 0t
自ら中間処理した後 の量	自ら中間処理した後 の量
⑩ 158.77t	⑩ 158.77t
自ら中間処理した後 の量	自ら中間処理した後 の量
⑪ 158.77t	⑪ 158.77t
自ら中間処理した後 の量	自ら中間処理した後 の量
⑫ 112.00t	⑫ 112.00t
自ら中間処理した後 の量	自ら中間処理した後 の量
⑬ 158.77t	⑬ 158.77t
自ら中間処理した後 の量	自ら中間処理した後 の量
⑭ 158.77t	⑭ 158.77t

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0t
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫ 158.77t
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑬ 158.77t
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑭ 158.77t
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩ 158.77t
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑪ 158.77t
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑫ 112.00t
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑬ 158.77t
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑭ 158.77t

(第2面)

(産業廃棄物の種類：廃油



)

(第2面)

(産業廃棄物の種類：ガラス

)

計画の実施状況	
項目	実績値
① 排出量	1.11t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1.11t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.11t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.11t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
⑮有償物量	1.11t
⑯不要物等発生量	1.11t
自ら再生直利用した量	② 0t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③ 0t
自ら中間処理した量	④ 0t
自ら中間処理に由り減量した量	⑦ 0t
自ら中間処理した後の残さ量	⑤ 0t
自ら中間処理した後は海洋投入処分した量	⑥ 0t
自ら中間処理した後は自ら埋立処分した量	⑨ 0t
自ら中間処理した後は自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑩ 1.11t
自ら中間処理した後は自ら熱回収を行う業者への処理委託量	⑪ 0t
自ら中間処理した後は外の業者への処理委託量	⑫ 0t
自ら中間処理した後は自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0t
自ら中間処理した後は自ら熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 1.11t
自ら中間処理した後は外の業者への処理委託量	⑮ 1.11t
自ら中間処理した後は自ら熱回収認定業者への処理委託量	⑯ 0t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

(第2面)

項目	実績値
① 排出量	0.12t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.12t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.12t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.12t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

自ら中間処理した後再生利用した量	⑧ 0t
------------------	------

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑫ 0.12t

自ら中間処理した量	④ 0t
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③ 0t
自ら中間処理した量	⑥ 0t
自ら中間処理により減量した量	⑦ 0t

自ら中間処理した後再生利用した量	⑧ 0t
------------------	------

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。